

昭島市教育委員会 殿

学校名 昭島市立福島中学校
校長名 前川 法彦



令和7年度 教育課程について (届)

このことについて、昭島市立学校の管理運営に関する規則に基づき下記のとおりお届けします。

記

1 教育目標

(1) 学校の教育目標

希望
創造
潤い

重点課題

自ら学び、自ら考える生徒
他を思いやり、支え合う生徒
責任をもち、やりぬく生徒

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

- ア 全ての教育活動において、生徒のチャレンジを認め、褒めるとともに、豊かな体験活動を通して自己有用感を高め、自尊感情を育む指導を推進する。
- イ SDGsを踏まえた持続可能な社会づくりに貢献する資質・能力を高め、人とのつながりに視点をもって進め、社会に主体的に考え、貢献できる生徒を育成する。
- ウ 確かな学力の定着を目指し、タブレット端末の効果的な活用を行い、4ステップ授業を実践し、主体的・対話的で深い学びを通して、思考力・判断力・表現力を向上、粘り強く主体的に学習に取り組む態度を育てる。
- エ ICTを有効活用し、言語能力、情報活用能力を育成するとともに、問題発見・問題解決能力等を高め、個別最適な学び、協働的な学びの実現を図る。
- オ 特別の教科道徳の時間を要とした道徳教育を計画的に推進するとともに、生徒が主体的に行う様々な体験活動を通して、自己・他者理解、誠実によりよく生きるための道徳性を養う。
- カ 人権尊重および生命尊重の精神を基盤とした心の教育を進め、思いやりや、生徒相互が尊重し合い、自他を敬愛する態度を育む。
- キ 「昭島市立学校 教育のユニバーサルデザイン」を活用し、誰一人取り残さない授業を目指し、全ての生徒にやさしい授業や学校環境を実現できる教育活動を展開する。
- ク 情報モラル教育及びデジタルシティズンシップ教育を推進するとともに、英語村(TGG)等の活用やコミュニケーション能力を向上させ、国際社会で活躍できる力の育成を図る。
- ケ 教育相談部会を要として計画的に特別支援教育を進め、学校生活支援シートを基に合理的配慮を踏まえつつ、生徒一人一人の特性に応じた細やかな支援を行う。
- コ 生徒が安心して、安全に学校生活を送るために、「学校いじめ対策委員会」を組織し、いじめの未然防止、早期発見、早期解消及び自殺防止に向けて組織的な対応を推進する。
- サ 体力・運動能力調査の結果を基に、体力の向上に向けた組織的な取組を行うとともに、健康で安全な生活を送るため、栄養士、薬剤師等と協力し、食育指導や薬育指導を充実させる。
- シ 生徒の夢の実現のためにキャリア・パスポートを活用し、将来への見通しをもたせ、社会的・職業的、主体的に自己実現ができる力(生きる力)を育成する。
- ス 福島中学校区スタンダードを基に、家庭・地域と共に9年間を見通した小中連携教育を行う。